

令和5年度 第1回 療育に関する情報交換会 会議報告書

日時 令和5年6月20日(火)
10:00～11:30
場所 龍野庁舎 第一会議室

1. 開会

- ・龍野健康福祉事務所あいさつ

2. 事業所紹介

- ・事業所アンケートに基づき自己紹介

<A 事業所>

2階から1階に移動した。児童発達支援、放課後等デイサービス共に定員が10名から15名に変更。機能訓練担当職員が14名に増えた。利用児は児童発達支援が約40名、放課後等デイサービスが約80名。

<B 事業所>

メールの連絡先が変更。保育所等訪問支援を始める。サービスの主たる対象者が知的障害、発達障害に関わらず肢体不自由の子等も対象になっている。児童発達支援管理責任者が児童発達支援、放課後等デイサービスにそれぞれ1名ずつの2名となっている。社会福祉士が2名増えている。利用児は児童発達支援が約65名、放課後等デイサービスが約80名。

<C 事業所>

送迎は迎えのみ。開所日は祝祭日、年末年始を除く月～土曜日となっている。職員体制が去年から変更となっている。利用児は児童発達支援が約15名、放課後等デイサービスが約70名。

<D 事業所>

大きく変更はなし。個別療育と小集団(2～3名)療育をしている。週1～3回利用されており、利用児は約30名。

<E 事業所>

重度心身障害児を対象にしている。利用児は児童発達支援と放課後等デイサービス合わせて25～30名。

<F 事業所>

事業実施地域がたつの市の他に相生市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町となっている。職員体制が変更になっている。利用児は50～60名。

<G 事業所>

放課後等デイサービスは土曜日10:00～16:00となっている。職員体制に変更があり、今年度から理学療法士が増えている。利用児は児童発達支援と放課後等デイサービス合わせて約45名。

<H 事業所>

サービスの主たる対象者は特定していない。児童発達支援の時間が10:00～11:30となっ

ている。職員体制が変更となっている。利用児は児童発達支援が10名前後、放課後等デイサービスが20名前後。

<I 事業所>

利用児は放課後等デイサービスが18名。

<J 事業所>

場所が愛心園の敷地内に移動、FAX番号が変更している。送迎は上郡駅まで要談。

・ mikke 活動紹介

パンフレット参照。第2・第4土曜日太子町、第3日曜日たつの市で開催。公式LINEで月初めにお知らせしている。不登校児だけでなく、学校に行っているけどしんどい子とその保護者も対象。

3. 昨年度の活動報告・今年度の活動内容について

西播磨圏域自立支援協議会設置要綱、令和4年度西播磨圏域自立支援協議会 事業報告をもとに説明。10月は障害児計画相談支援に関する連絡会と市長部会と合同開催、2月はフォローアップ研修と合同開催をした。

4. 情報交換会

【事前質問①】

- ・日ごろどのような療育を行なっているか
- ・どのような教材を用いるのか
- ・長期休暇をどのようなイベントなどを行なっているか

<a 事業所>

- ・放課後等デイサービスは個別療育。児童発達支援は主に保育が中心。3歳児までは母子通園、4・5歳児は単独通園。3歳児までは母子共に不安な状態のため、母子での通園をしてもらい、生活全般（イス、あいさつ等）を支援している。
- ・保育雑誌等を参考に手作り中心で教材を用意、1ヶ月に1つ作れたらと思う。
- ・長期休暇は水遊びやプール、自然を感じられるような遊びを取り入れている。

<b 事業所>

- ・放課後等デイサービスでは、るぼろの方針の一つに「夢を叶えよう」というのがあり、その月の活動を月初めに子ども達が決めている。お買い物、実験、山登り等。活動の中で子ども同士の関係性、ルール、社会性を身につけていくようサポートしている。
- ・教材は手作りしている。
- ・長期休暇はプール、クッキング、1日使っておでかけ週間を取り入れている。
- ・児童発達支援は午前中が3歳児まで、午後は4・5歳の小集団。こども園と併設しているため、毎日通所している子が小集団療育に参加したり、個別療育を利用している。利用開始から3～6ヶ月は母子通園。保育士と療法士でプログラムを考え、季節に応じて、一人ひとりに沿いながら小集団の中でダイナミックな遊び（人間スゴロク、ボディ

ペイント等)をみんなで楽しむよう取り入れている。

- ・教材は手作りや、こども園と共有している。

<c 事業所>

- ・児童発達支援では母子通園を基本とし、就園前の子は就園に向けて単独通園をしている。午後は5歳児グループで就学に向けたプログラムを取り入れている。
- ・放課後等デイサービスではルールのあるゲームやお買い物、体を使った遊びを取り入れている。職員が介入しながら人との関わりや社会性を広げていけるよう関わっている。
- ・土曜日は音楽療法や感染症が落ち着いてきたので電車に乗って外出したり、第五土曜日は児童発達支援でファミリープログラムを実施している。
- ・教材は色々な物を参考にしながら手作りしている。
- ・長期休暇では水遊び、プール、夏祭りのような季節を感じるプログラムを取り入れている。

<d 事業所>

- ・医療的ケア児が利用しているため、まずは体調管理を大切にしている。限られた時間なので遊びの中でリハビリを取り入れている。理学療法士と保育士で一か月のプログラムを考えている。五感、季節を感じたり、音楽等バランスよく組み立てている。
- ・教材はその子に応じて手作りしている。
- ・長期休暇は家でできないことや場所を取り入れている。保護者にどんな経験をしたいか聞くと、キャンプや森遊びという意見があり、ネイチャー施設に行った。高校生の子がスタバに行きたい、プリクラを撮りたいと言っており、その子の願いを達成できるようにしている。事前に電話をして協力をおおるようにしている。また、実際に行って下見もしている。ほかにも海洋文化センターやポーリング、プラネタリウム等。地域ではコープや消防署にも行った。

<e 事業所>

- ・活動を通してこども同士の関わり、コミュニケーション、社会性を伸ばしていけるようサポートしている。また、余暇やストレス発散ができるようにしている。地域との関わりでダイセルのサッカー場で専門講師にお願いしてサッカーをしている。月1回音楽療法を考えている。
- ・教材は手作りしている。
- ・長期休暇は県外に出で、その地域特有の経験ができるようにしている。また、宿泊体験をしてほしいという要望があり、実行した。外出先の下見はしている。

<f 事業所>

- ・来所すると宿題をし、個々にビジョントレーニングを取り入れている。夏休みでは夏休みの宿題を復習してほしいと保護者から要望があり、復習等もしている。運動や制作、ボードゲームを取り入れ、コミュニケーションを伸ばしていけるようサポートしている。月1回、体育館でバドミントンをしている。
- ・教材は市販の物や手作り、インターネットから学習プリントを参考にその子に合わせたプリントを作る等している。
- ・長期休暇はクッキングや外での買い物支援、夏休み中はおやつをかき氷にしようと考え

ている。

<g 事業所>

- ・児童発達支援では就園前、就学前に何が必要なのか保護者から聞きとっている。季節の制作や運動会、音楽会、生活発表会もしている。生活発表会では大きなカブをし、それに向けて実際にカブを植えたりした。放課後等デイサービスでは季節の行事、制作、体験や遊びの中に PT の要素を取り入れている。
- ・教材は手作りや市販の物を使用している。
- ・長期休暇では、体験活動や夏祭り、クッキング、外食をしている。他の施設と連携や協力をしてイベント等を考えている。

<h 事業所>

- ・放課後等デイサービスでは来所すると宿題をし、学習支援を行なっている。毎月、週単位で決められたプログラム（SST、クッキング等）を行なっている。
- ・教材は手作りが中心。制作活動で作ったものを、別のプログラムで使用してから持ち帰る時もある。
- ・長期休暇では、加西のサンタ列車を体験したり、事前準備をしっかりとて普段とは違うことを体験できるようにしている。森のバラスポーツに参加している。

<i 事業所>

- ・計画に基づいて、保護者の要望や様子を見て支援している。遊び、言語・コミュニケーション、認知、行動面、運動（微細）を主に取り入れている。
- ・教材は市販の物や、楽しくするためにお子さんの好みに合わせて作成している。
- ・長期休暇では時間の調整をしている。イベントはできていない。

【事前質問②】

自閉症の発語のない子への関わり方、どういう教育を取り入れたらいいか取り入れたら良
いか

<事業所より>

- ・家庭や学校でどのようにしているか、情報共有し、共通の対応をする。
- ・カードやサイン等を使用し、共通語にする。

【事前質問③】

ペアレントトレーニングはどんな取り組みをされているか（親子への支援をどういう風に
声かけしたらいいか、発信をどのようにしているのか）

<事業所より>

- ・個別支援の時に日頃の話をしている。TSUBASA では茶話会を開いている。こちらが主導
ではせず、横のつながりを作る環境づくりをしている。

- ・月1回、先輩ママのお話会を小・中・高それぞれの就学に向けて行なっている。土曜日や園、学校に行っている時間帯に行なうようにし、保護者の仕事の都合がつきやすいように前もって日程を伝えている。

5. その他

- ・ペアレントトレーニング研修会のご案内

6. 閉会

- ・龍野健康福祉事務所あいさつ

次回予定：令和5年10月